

日本特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

APR 18 2002

出願年月日

Date of Application: 2001年 3月21日

出願番号

Application Number: 特願2001-081242

[ST.10/C]:

[JP2001-081242]

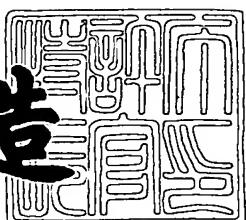
出願人

Applicant(s): 本田技研工業株式会社

2002年 2月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2002-3004592

【書類名】 特許願

【整理番号】 H101039001

【提出日】 平成13年 3月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区南青山2丁目1番1号 本田技研工業株式会社内

【氏名】 久慈 英樹

【特許出願人】

【識別番号】 000005326

【氏名又は名称】 本田技研工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100081721

【弁理士】

【氏名又は名称】 岡田 次生

【選任した代理人】

【識別番号】 100111969

【弁理士】

【氏名又は名称】 平野 ゆかり

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 034669

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 作物栽培支援システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 過去の作物価格および出荷量の情報を記憶する市況データベースと、前記市況データベースに関連し、作物名を選択可能なページをインターネット上で提供するサーバとを備え、

前記サーバはユーザからのアクセスに応じて前記ページを送信し、該ページ上に表示される作物名をユーザがクリックするイベントに応じて前記市況データベースを検索し、該クリックされた作物に対応する作物価格および出荷量の情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされている作物栽培支援システム。

【請求項2】 長期天気予測情報を記憶する天気予測データベースをさらに備え

前記サーバは、前記クリックするイベントに応じて前記天気予測データベースを検索し、前記天気予測情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされている請求項1に記載の作物栽培支援システム。

【請求項3】 地域ごとおよび栽培時期ごとに栽培に適した作物情報を記憶する作物データベースをさらに備え、

前記サーバは、前記H T M L文書からリンクが張られた作物情報ページをさらに備え、該リンクによる作物情報ページへのアクセスに応じて、ユーザに作物の栽培地域および栽培時期を入力させるための入力フォームを送信し、これに応じてユーザから送信される情報に基づいて前記作物データベースから作物情報を検索し、検索された作物情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされている、請求項1に記載の作物栽培支援システム。

【請求項4】 耕作する作物ごとに適した耕運機情報を記憶する耕運機データベースをさらに備え、

前記サーバは、前記H T M L文書からリンクが張られた耕運機情報ページをさらに備え、該リンクによる前記耕運機情報ページへのアクセスに応じて、前記耕運機データベースから前記クリックした作物に対応する耕運機情報を検索し、該

検索した耕運機情報をHTML文書でユーザに送信するようプログラムされている、請求項1に記載の作物栽培支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、作物の価格や天気予報等の情報を提供することで、作物の栽培を支援するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、全農業従事者に占める専業者の割合は低下しており、兼業で農業を行ったり、あるいは都市生活者であった者が地方で農業に従事したりするケースが増加している。

【0003】

これらの者は、一般に市況情報を得る手段に乏しく、作物を栽培するに当たって十分な収支予測を立てずに高価な農業機械を購入してしまい、損失を被ることがある。また新たに農業に従事する者は、各地域の気候、土壤性質や農業機械についての知識が不足しており、本来その地域に不適な作物を生育しようと試みたり、あるいは不必要的農業機械を導入したりして、損失を被ることがある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

従って、作物の市場価格、栽培地に適した作物の選定、必要な農業機械の選定といった農業を行うに当たって重要である事項を総合的に検討するための手段が必要とされている。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は一形態において、過去の作物価格および出荷量の情報を記憶する市況データベースと、前記市況データベースに関連し、作物名を選択可能なページをインターネット上で提供するサーバとを備え、前記サーバはユーザからのアクセスに応じて前記ページを送信し、該ページ上に表示される作物名をユーザがクリ

ックするイベントに応じて前記市況データベースを検索し、該クリックされた作物に対応する作物価格および出荷量の情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされている作物栽培支援システムを提供する。

【0006】

この形態によると、ユーザは自宅の端末を利用して、作物の価格および出荷量の情報を簡単に得ることができるので、作物を栽培するに当たって収支予測を立てることができる。

【0007】

本発明の別の形態では、長期天気予測情報を記憶する天気予測データベースをさらに備え、前記サーバは、前記クリックするイベントに応じて前記天気予測データベースを検索し、前記天気予測情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされる構成をとる。

【0008】

この形態によると、ユーザは自宅の端末を利用して、長期の天気予測を簡単に入手して、作物の栽培に役立てることができる。

【0009】

本発明のさらに別の形態では、地域ごとおよび栽培時期ごとに栽培に適した作物情報を記憶する作物データベースをさらに備え、前記サーバは、前記H T M L文書からリンクが張られた作物情報ページをさらに備え、該リンクによる作物情報ページへのアクセスに応じて、ユーザに作物の栽培地域および栽培時期を入力させるための入力フォームを送信し、これに応じてユーザから送信される情報に基づいて前記作物データベースから作物情報を検索し、検索された作物情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされる構成をとる。

【0010】

この形態によると、最適作物の情報を得ることで収穫の向上が期待できる。さらに、作物の価格と出荷量の情報を利用して、投資対効果を検討することができる。

【0011】

本発明のさらに別の形態では、耕作する作物ごとに適した耕運機情報を記憶す

る耕運機データベースをさらに備え、前記サーバは、前記H T M L文書からリンクが張られた耕運機情報ページをさらに備え、該リンクによる前記耕運機情報ページへのアクセスに応じて、前記耕運機データベースから前記クリックした作物に対応する耕運機情報を検索し、該検索した耕運機情報をH T M L文書でユーザに送信するようプログラムされる構成をとる。

【0012】

この形態によると、ユーザは作物の栽培に必要な耕運機を簡単に選択できる。さらに、作物の価格と出荷量の情報をを利用して、投資対効果を検討することができる。

【0013】

【発明の実施の形態】

図1は本発明の一実施形態の構成を示すブロック図である。サーバ10はインターネット11に接続されており、農作物市況情報を表示する農作物市況ページと、栽培地域に適した作物の情報が得られる作物推奨ページと、耕運機および耕運機に取りつけて使用するアタッチメントの情報が得られる耕運機選択ページをインターネット11上で提供するように構成されている。端末12、13、14、15は各家庭、農機具販売店、農協、農家等のユーザの元に設置されており、それぞれがGUI環境を実現できるディスプレイ、およびマウス等の入力装置を備えている。端末12、13、14、15はインターネット11に接続するよう設定されたブラウザを備え、それぞれのURLを入力することにより、サーバ10が提供する農作物市況ページ、作物推奨ページ、および耕運機選択ページにアクセスできるように構成されている。

【0014】

サーバ10には市況データベース16、天気予測データベース17、作物データベース18、土壤データベース19、地図データベース20、および耕運機データベース21が接続されている。

【0015】

市況データベース16には、全国の主要市場における過去の農作物価格および出荷量の情報が農作物ごとに予め記憶されている。これらの情報は適当な間隔、例

えば1ヶ月ごとに最新の情報に更新される。さらに専門家の予測する農作物ごとの価格予想も記憶されている。

【0016】

天気予測データベース17には全国の主要都市の天気の長期予測の情報が予め記憶されており、これらの情報は適当な間隔、例えば1ヶ月ごとに最新の情報に更新される。

【0017】

作物データベース18には、地域ごとの気候、土壤および標高を考慮して予め選択された栽培に適している作物および栽培方法の情報が、地域および栽培可能時期に関連付けされて記憶されている。作物データベース18に記憶しておく地域の分割を小さくするほど、細分化した地域ごとにより適切な推奨作物を記憶させておくことができる。作物データベース18において、各地域は経緯度によってその範囲を画定されている。作物データベース18は、ユーザがブラウザ上で選択する地点の経緯度の情報を使用して、ユーザが選択した地点を含む地域を検索できるように構成されている。この動作については後に詳細に説明する。また作物データベース18には、各作物の画像ファイルも作物名に関連させて予め記憶されている。

【0018】

土壤データベース19には、地域ごとの土壤性質が予め記憶されている。土壤データベース19に記憶させておく地域の分割を小さくするほど、細分化した地域ごとの土壤性質を記憶させておくことができる。土壤データベース19において、各地域は経緯度によってその範囲を画定されている。また土壤データベース19は、作物データベース18と同様に、ユーザがブラウザ上で選択する地点の経緯度の情報を使用して、ユーザが選択した地点を含む地域を検索できるように構成されている。この動作については後に詳細に説明する。また土壤データベース19には、土壤性質に関連させた土壤の改良方法も予め記憶されている。

【0019】

地図データベース20には、全国の市区町村に対応する地域の地図画像ファイルが記憶されている。また地図画像には画像ごとに座標が設定されており、座標に

対応する経緯度および標高も地図データベース20に記憶されている。

【0020】

耕運機データベース21は、特定の作物または作業ごとに、適した耕運機およびアタッチメントの情報、それぞれの価格情報を予め記憶している。また耕運機およびアタッチメントの情報には、それぞれの外観を表す画像ファイルが関連付けられており、各画像ファイルは耕運機データベース21に記憶されている。

【0021】

初めに、農作物市況ページについて説明する。図2は農作物市況ページ30の一例を示す。ページ30には、農作物を選択するためのプルダウンメニュー31、市況情報が表示されるフィールド32、作物推奨ページへリンクが張られているボタン34、および耕運機選択ページへリンクが張られているボタン35が表示される。ユーザがプルダウンメニュー31の右端の三角印の上にマウス等でポインタを移動させ、クリックすると、現時点での市況データベースに市況情報が記憶されている農作物の一覧がプルダウンメニュー31の下部に表示される。表示された中から、ユーザが市況情報を知りたい農作物をクリックして選択すると、このイベントに応じてサーバ10の検索プログラムが起動される。

【0022】

図3は農作物を選択した後のページ30を示す。検索プログラムは、ユーザが選択した農作物に対応する価格情報、出荷量情報、および価格予想情報を市況データベース16から検索する。また検索プログラムは天気予測データベース17から現時点の最新の長期天気予測情報を検索する。さらに検索プログラムは、検索した価格情報および出荷量情報から、それぞれグラフ36のような横軸に月をとった価格推移グラフおよび出荷量推移グラフを作成する。作成されたグラフ、価格予想情報および長期天気予測情報はユーザの端末に送信され、フィールド32に表示される。図3のフィールド32には、価格推移のグラフと価格予想とが示されている。図3の長方形部33の上にポインタを移動し、マウスのボタンを押下したままマウスを下部に移動させてフィールド32をスクロールすると、ユーザ端末に送信された他の情報がフィールド32に表示される。このようにして、ユーザは自宅の端末を利用して、作物の価格、出荷量、および天気予測の情報を簡単に得ることが

できるので、作物の栽培における収支予測を立てるのに役立つ。

【0023】

図3のボタン34をクリックすると、作物推奨ページに移動する。これについては図4ないし図7を用いて説明する。ボタン35をクリックすると、耕運機選択ページに移動する。これについては図8ないし図10を用いて説明する。

【0024】

図4はユーザがボタン34をクリックしたのに応じてサーバ10からユーザ端末に送信されユーザ端末のブラウザに表示される作物推奨ページ40の一例を示す。作物推奨ページ40は、ユーザが作物の栽培を行おうとしている栽培場所を選択するための都道府県プルダウンメニュー41、市区町村プルダウンメニュー42と、作物の栽培を開始しようとしている栽培時期を選択するための栽培時期プルダウンメニュー44と、地図画像を表示するフィールド43と、送信ボタン45とを備えている。ユーザが都道府県プルダウンメニュー41の右端部の三角印上に、ディスプレイに表示されるポインタをマウス等の入力装置を用いて移動させクリックすると、都道府県名の一覧が都道府県プルダウンメニュー41の下部に表示される。表示された中からユーザの栽培場所の属する都道府県をクリックして選択した後、市区町村プルダウンメニュー42の右端部の三角印をクリックすると、先に選択した都道府県に存在する市区町村名の一覧が市区町村プルダウンメニューの下部に表示される。表示された中からユーザの栽培場所の属する市区町村をクリックして選択すると、H T T P プロトコルに従って、市区町村名の情報がユーザ端末からサーバ10に送信される。

【0025】

サーバ10は送信された市区町村名に対応する地域の地図画像ファイルを地図データベース20から検索し、ユーザ端末に送信して、作物推奨ページ40のフィールド43に表示する。ユーザは表示された地図画像上で栽培場所に相当する地点にポインタを移動させ、クリックすると、地図上の地点の座標がH T T P プロトコルに従ってユーザ端末からサーバ10に送信される。サーバ10は、送信された座標に対応する経緯度を地図データベース20から検索する。このように、ユーザはブラウザに表示される地図画像上で自分の栽培場所を容易にかつ詳細に選択できるの

で、細分化された地域に対しての推奨作物情報、土壤情報を得ることができる。

【002-6】

図4において栽培場所を選択した後、ユーザが栽培時期プルダウンメニュー44の右端部の三角印をクリックすると、栽培時期プルダウンメニュー44の下部にカレンダーが表示される。作物の栽培を開始したい日を表示されたカレンダーからクリックして選択した後、送信ボタン45をクリックすると、選択した日の情報がサーバ10に送信される。

【002-7】

サーバ10は、送信された栽培開始日、および先に検索した栽培場所の経緯度の情報に基づいて、作物データベース18から栽培に適した作物を検索する。まず経緯度の情報を使用してその経緯度の含まれる地域を検索し、さらにその地域に関連付けられた栽培に適している作物を検索する。続いて、検索された作物の中から栽培開始日が栽培可能時期に適合する作物を選択する。さらに選択した作物の画像ファイルを検索する。ユーザが入力した栽培場所および栽培時期に適合する作物が複数個選択された場合には、予め決められている方法に従って、選択された各作物に点数付けを行い、優先順位を決定する。以上の動作が終了すると、サーバ10は検索された情報と情報を表示するページをユーザ端末に送信する。

【002-8】

図5は推奨作物を表示するページ50の一例を示す。サーバ10は、選択した一つまたは複数の作物の画像ファイルをページ50のフィールド51に表示する。作物が複数個選択されている場合には、「全部で〇件該当しました」の表示55と共に、先に決定した優先順位の順番で左から右に並べて表示する。作物の画像ファイルが一画面で表示しきれない場合には、ボタン53をクリックすると、最初に表示された作物の次に優先順位の高い作物の画像ファイルが、最初に表示された画像ファイルに入れ替わってフィールド51に表示される。この作業を繰り返して、選択されたすべての作物の画像ファイルを見ることができる。各作物の画像ファイルの下部には作り方ボタン52が表示されており、このボタンをクリックすると、各作物の栽培方法を説明する栽培支援ページへ進むことができる。さらにページ50中には土壤情報ボタン54も表示されており、このボタンをクリックすると、栽培

場所の土壤性質を説明する土壤情報ページへ進むことができる。

【0029】

図6は栽培支援ページ60の一例を示す。図5で作り方ボタン52がクリックされると、サーバは作物データベース18から対応する作物の栽培方法の情報を検索し、ページ60と共にユーザ端末に送信する。作物の栽培方法は、ページ60のフィールド61に表示される。栽培方法には、気候に対応した栽培方法のほか、その地域に対応した作付け・収穫時期、肥料の種類および肥料を与える時期、種付け、除草、収穫等に適した用具や機械、およびその使用方法等が含まれる。

【0030】

作物データベース18には、各作物の栽培に適した耕運機の画像ファイルを栽培方法の情報に関連させて記憶させておくこともできる。この場合、作物の栽培方法の情報が検索されるときに関連する画像ファイルも共に作物データベース18から検索され、ユーザ端末に送信され、ページ60のフィールド62に表示される。

【0031】

ユーザがこの耕運機の画像を見て、購入をしたいと思う場合、または耕運機の詳細な説明を知りたいと思う場合は、フィールド62の下部に表示されているボタン64をクリックすることで、耕運機選択ページに移動することができる。またボタン63をクリックすることで、農作物市況ページに移動することができる。

【0032】

このようにして、ユーザは作物についての専門的知識がなくてもユーザの栽培場所および栽培時期に適した作物およびその栽培方法を簡便に知ることができるので、適切な栽培を行って作物の収穫量の向上を図ることができる。

【0033】

図7は土壤情報ページ70の一例を示す。図5で土壤情報ボタン54がクリックされると、サーバ10は先に検索した経緯度の情報を使用して、その経緯度の含まれる地域の土壤性質の情報を土壤データベース19から検索する。さらにサーバ10は検索した土壤性質の情報に対応する土壤の改良方法の情報を土壤データベース19から検索する。検索された情報は、ページ70と共にユーザ端末に送信される。土壤性質の情報はページ70のフィールド71に表示され、土壤の改良方法の情報はペ

ページ70のフィールド72に表示される。土壤の性質の情報は、酸性／アルカリ性といったその地域の土質、保濕性、水はけ等の情報である。土壤改良方法の情報には、土質を中和する方法、水はけを良くする方法、改良に適した用具や機械、およびその使用方法等の情報が含まれる。

【0034】

土壤データベース17には、土壤改良の作業に適した耕運機の画像ファイルを土壤の改良方法の情報に関連させて記憶させておくこともできる。この場合、土壤の改良方法の情報が検索されるときに関連する画像ファイルも共に土壤データベース19から検索され、ユーザ端末に送信され、ページ70のフィールド73に表示される。

【0035】

ユーザがこの耕運機の画像を見て、購入をしたいと思う場合、または耕運機の詳細な説明を知りたいと思う場合は、フィールド73の下部に表示されているボタン75をクリックすることで、耕運機選択ページに移動することができる。またボタン74をクリックすることで、農作物市況ページに移動することができる。

【0036】

このようにして、ユーザは専門的知識がなくても栽培場所の土壤性質およびその改良方法を知ることができるので、栽培する作物の選定に役立つと共に、土壤の改良を行って作物の収穫量を向上させることができる。

【0037】

図8は、ユーザが図3においてボタン35をクリックしたのに応じてサーバ10からユーザ端末に送信されユーザ端末のブラウザに表示される耕運機選択ページ80の一例を示す。サーバ10は、耕運機選択ページ80の送信時に、図3のプルダウンメニュー31においてユーザが選択した作物の栽培に適する耕運機の情報および関連する画像ファイルを、耕運機データベース21から適当な数（図8では3台）検索してユーザ端末に送信する。送信された耕運機の画像ファイルはフィールド81に表示され、耕運機の情報はフィールド84に表示される。表示されている耕運機をユーザが所有していて、耕運機に取りつけるアタッチメントだけ購入したい場合は、該当する耕運機の画像の下にある所有ボタン82をクリックする。表示され

ている耕運機をユーザが購入したいと思う場合は、該当する耕運機の画像の下にある購入ボタン83をクリックする。何れの場合も、クリックされた耕運機名の情報がH T T P プロトコルに従ってユーザ端末からサーバ10に送信される。

【0038】

サーバ10は、送信された耕運機に取りつけることができるアタッチメントの情報およびそれに関連付けられている画像ファイルを耕運機データベース21から検索する。続いて検索した情報および画像ファイルをアタッチメント選択ページと共にユーザ端末に送信する。

【0039】

図9はアタッチメント選択ページ90の一例を示す。送信されたアタッチメントの画像ファイルはフィールド91に表示される。送信された画像ファイルが複数ある場合には、6つまでの画像が表示される。各アタッチメント画像ファイルの下部には詳細ボタン92が表示されており、これをクリックすると、送信された対応するアタッチメントの情報を表示するボックスが、詳細ボタン92の近傍に表示される。このアタッチメントの情報は、アタッチメントを用いて行うことができる作業についての説明、対応可能な作物の種類や土壤の性質等である。これによつてユーザは、専門的な知識がなくても、作物の栽培や作業に必要な耕運機とアタッチメントの組み合わせを知り、さらにその使用法を知ることができる。

【0040】

ユーザが必要なアタッチメントを所有しておらず、購入を希望する場合は、購入ボタン93をクリックする。クリックされたアタッチメント名の情報がH T T P プロトコルに従ってユーザ端末からサーバ10に送信される。

【0041】

サーバ10は、送信されたアタッチメント名の情報、および図8に示す耕運機選択ページにおいて選択され送信された耕運機名の情報を使用して、対応する耕運機およびアタッチメントの価格情報を耕運機データベース21から検索する。検索した価格情報はサーバのメモリに記憶され、続いて購入情報入力フォームがユーザ端末に送信される。

【0042】

図10は購入情報入力フォーム100の一例を示す。フィールド101には選択された耕運機およびアタッチメントの名称が表示される。図8の耕運機選択ページにおいて、ユーザが所有ボタン82をクリックして選択した場合には、耕運機の名称はフィールド101に表示されない。ユーザが複数のアタッチメントを購入したい場合には、「さらに選択」ボタン102をクリックすると、アタッチメント選択ページ90に戻る。ここで別のアタッチメントをクリックして選択すると、上記と同様の手順で、選択されたアタッチメントの価格情報が耕運機データベース21から検索され、サーバのメモリに記憶され、フォーム100のフィールド101の既に選択されていたアタッチメント名の下に、新たに選択されたアタッチメント名が表示される。この一連の操作を繰り返して必要なアタッチメントすべてをフィールド101に表示させる。

【0043】

所望の商品がフィールドに表示されたら、ユーザは見積ボタンをクリックする。これに応じて、サーバ10は選択された耕運機およびアタッチメントの価格をメモリから読み出し、合計金額を計算する。複数の耕運機またはアタッチメントが選択されているときには、所定の計算式に従って合計金額を割引しても良い。計算された合計金額はユーザ端末に送信され、フォーム100のフィールド104に表示される。ユーザはフィールド105に住所、氏名を入力して、購入ボタン106をクリックすると、HTTPプロトコルに従ってこれらの情報をユーザ端末からサーバ10に送信される。サーバ10は、これらの情報をインターネット11を介して販売店の端末に送信する。このようにしてユーザは、インターネットを使用して作物の栽培や作業に必要な耕運機とアタッチメントを簡単に購入することができる。

【0044】

また、ページ100には作物推奨ページへ移動するボタン107、および耕運機選択ページへ移動するボタン108が表示されており、ボタンをクリックすることでそれぞれ対応するページへ移動することができる。

【0045】

上記のように、農作物市況ページ、作物推奨ページ、耕運機選択ページは互いにリンクされている。従って、3つのページを参照することにより、作物価格、

最適作物、必要な耕運機の情報を一度に得ることができるので、投資対効果を総合的に検討することができる。

【0046】

【発明の効果】

この発明によると、作物の価格および出荷量の情報、天気予測を簡単に得ることができるので、収支予測を立てることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態の構成を示す図である。

【図2】農作物市況ページの一例を示す図である。

【図3】作物を選択した後の農作物市況ページを示す図である。

【図4】作物推奨ページの一例を示す図である。

【図5】推奨作物を表示するページの一例を示す図である。

【図6】栽培支援ページの一例を示す図である。

【図7】土壌情報ページの一例を示す図である。

【図8】耕運機選択ページの一例を示す図である。

【図9】アタッチメント選択ページの一例を示す図である。

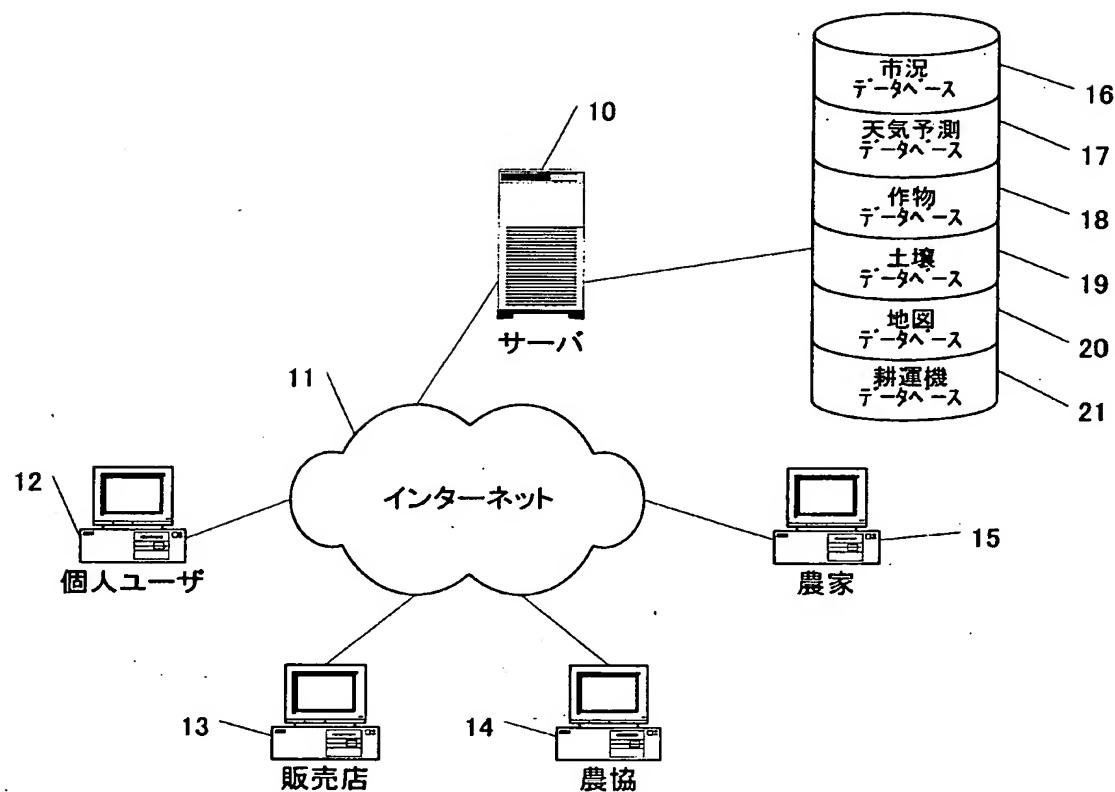
【図10】購入情報入力フォームの一例を示す図である。

【符号の説明】

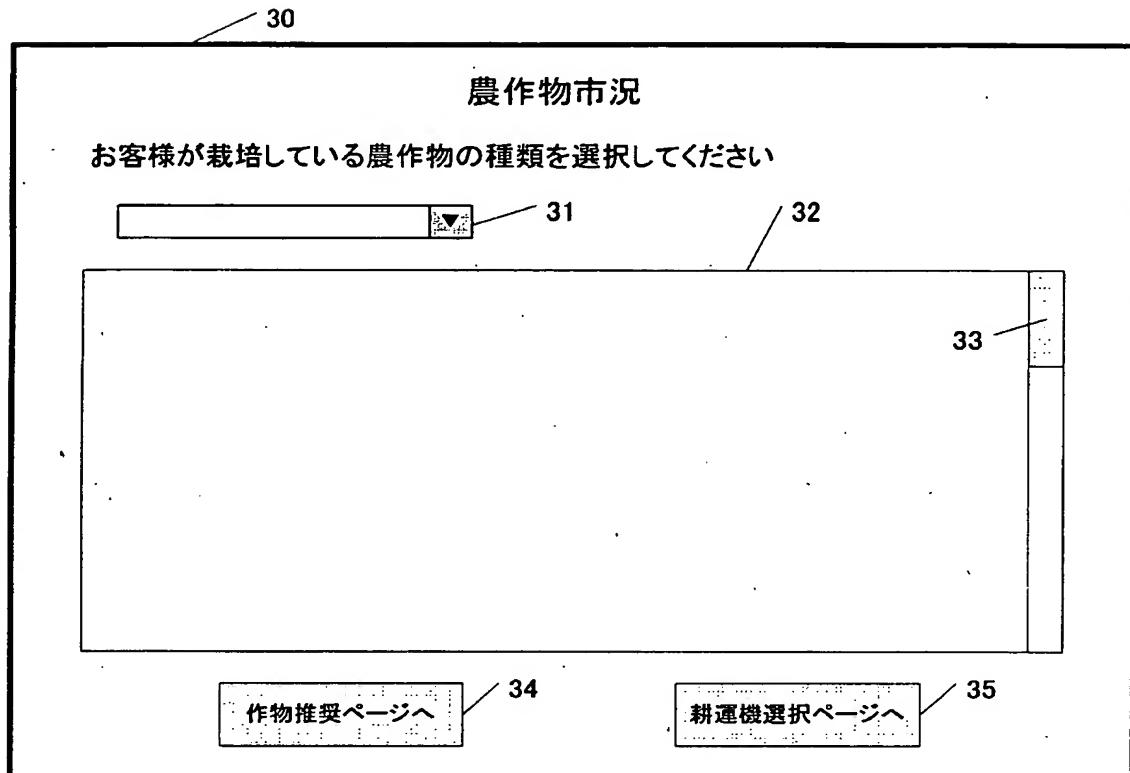
10	サーバ
11	ネットワーク
12、13、14、15	端末
16	市況データベース
17	天気予測データベース
18	作物データベース
19	土壌データベース
20	地図データベース
21	耕運機データベース

【書類名】 図面

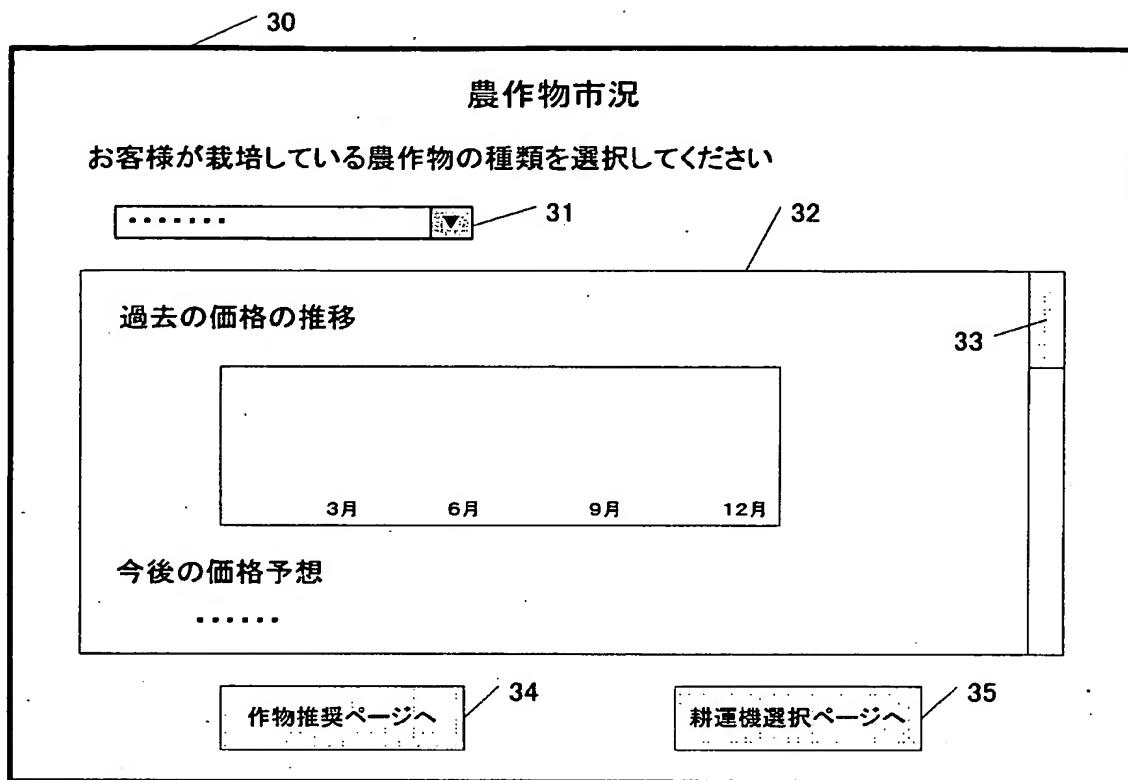
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

40

作物の推奨
お客様の栽培場所に適した作物をお探しします。

43

栽培場所を選択してください

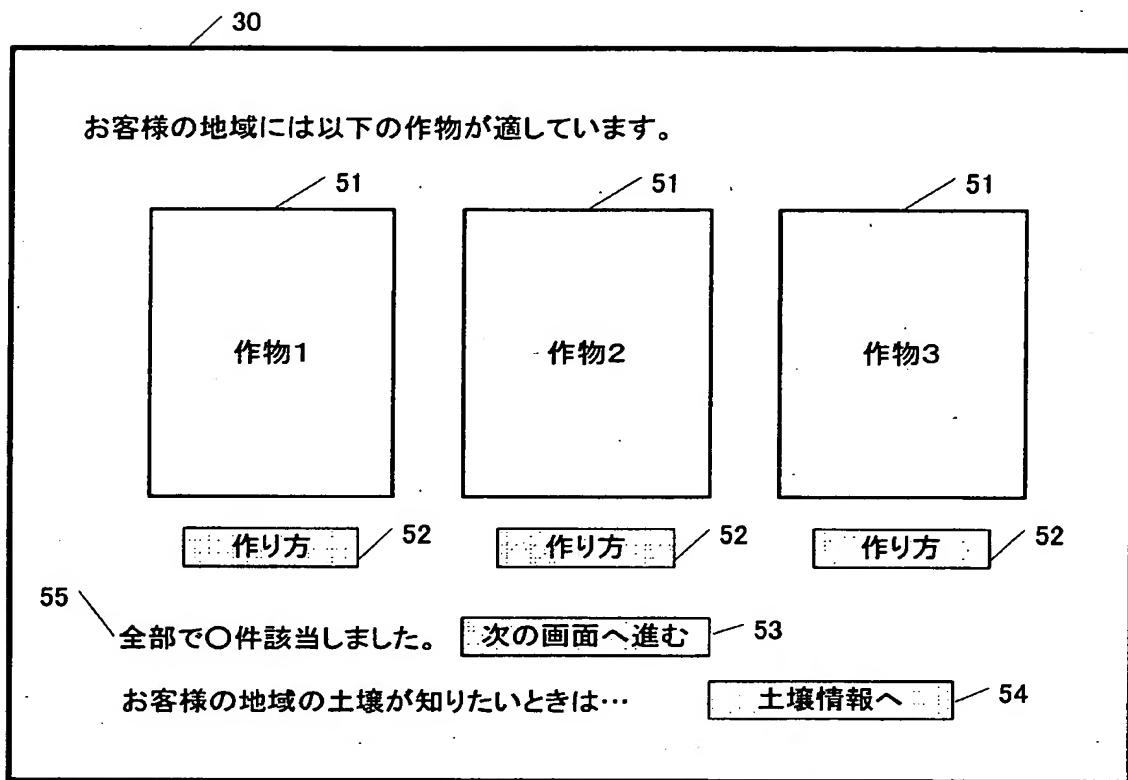
都道府県
41

市区町村
42

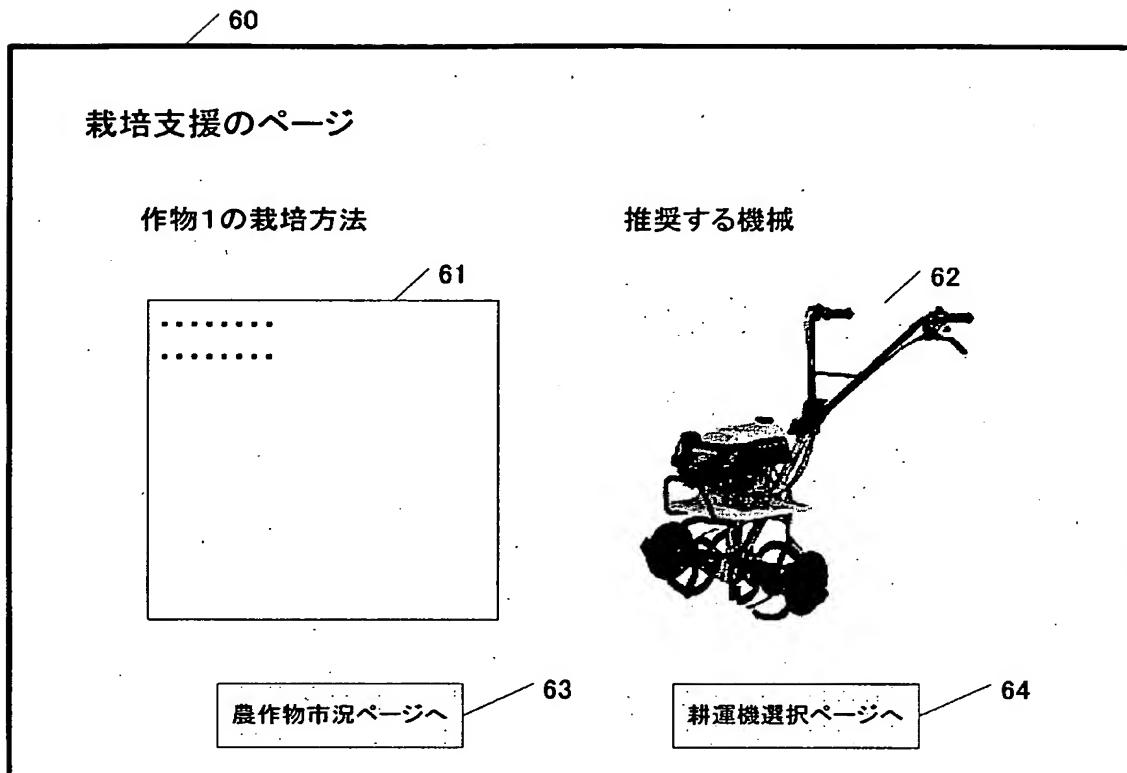
栽培時期を選択してください
44

送信
45

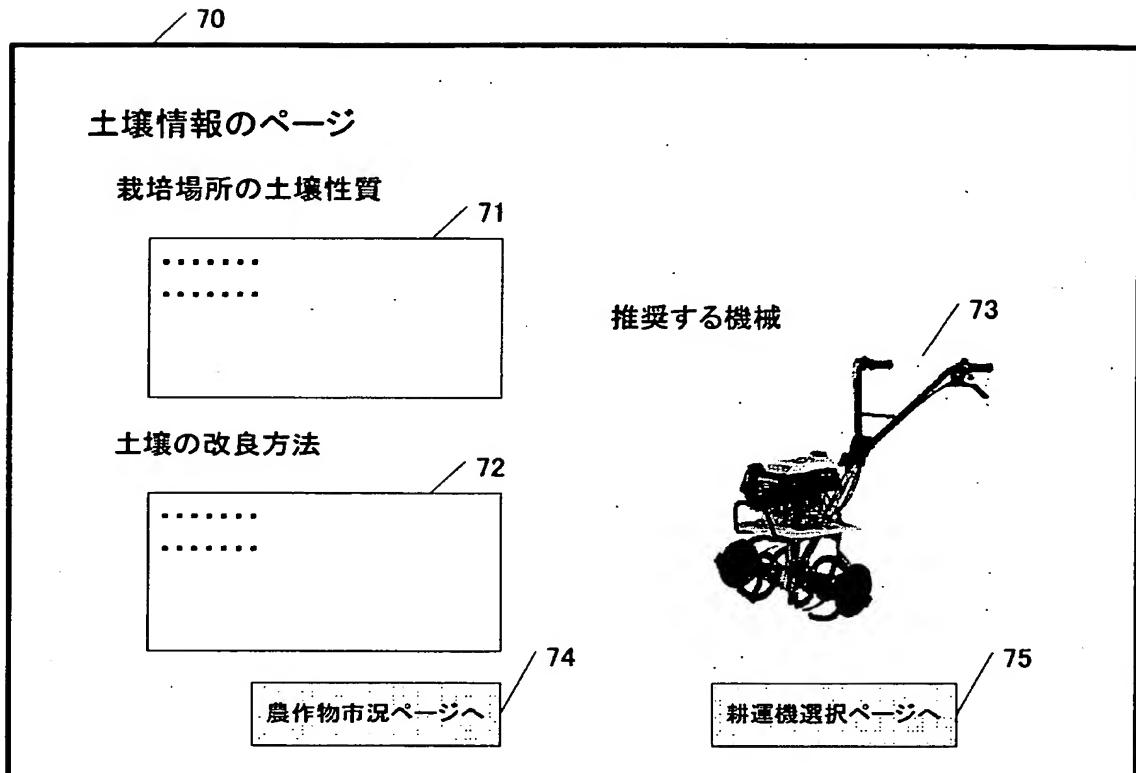
【図5】



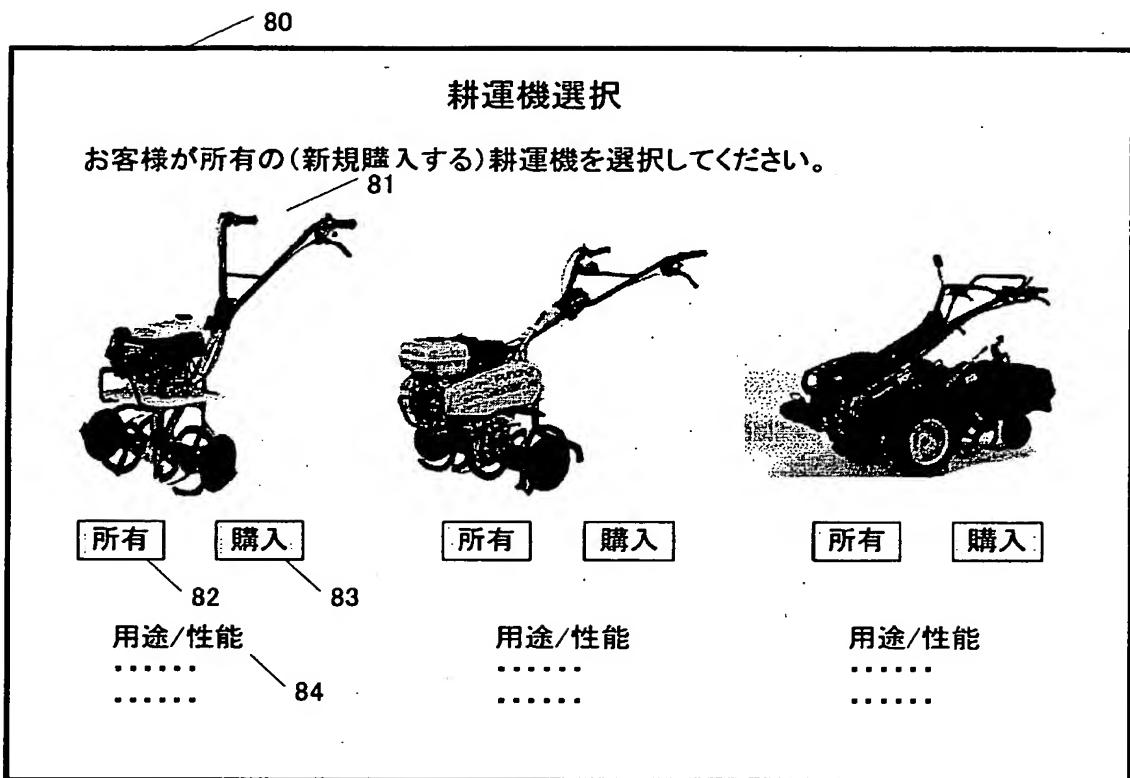
【図6】



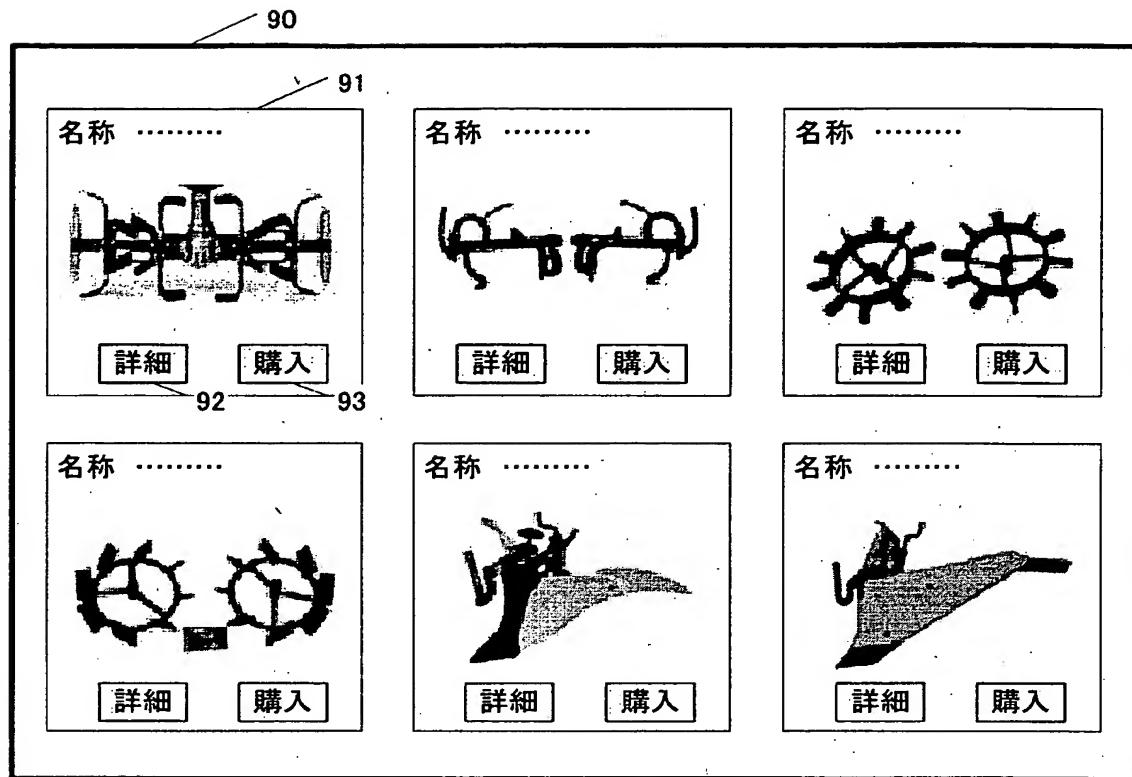
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

100

選択された商品		見積	103
101	102 さらに選択	見積金額	
		¥	104
お届け先			
住所		105	
氏名			
106 購入			
農作物市況ページへ		107	
作物推奨ページへ		107	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 作物の価格、出荷量、および天気予測の情報を簡単に得ることができるシステムを提供する。

【解決手段】

サーバ10は、インターネット11上で農作物市況ページを提供する。前記ページに表示される農作物名の中からユーザが1つを選択すると、サーバ10の検索プログラムが起動される。検索プログラムは、ユーザが選択した農作物に対応する価格情報、出荷量情報、および価格予想情報を市況データベース16から検索する。また検索プログラムは天気予測データベース17から現時点の最新の長期天気予測情報を検索する。さらに検索プログラムは、検索した価格情報および出荷量情報から、それぞれグラフ36のような横軸に月をとった価格推移グラフおよび出荷量推移グラフを作成する。作成されたグラフ、価格予想情報および長期天気予測情報はユーザの端末に送信される。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005326]

1. 変更年月日 1990年 9月 6日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区南青山二丁目1番1号

氏 名 本田技研工業株式会社